第1号様式（第2条関係）　　（表面

記入例

児童手当　認

桑折町長殿

提出年月日	※受付確認年月日
令和6年10月1日	年　月　日

父母のうち所得の高い方

ア：厚生年金加入者（会社員等）
ウ：国民年金加入者（自営業・無職等）
配偶者の社会保険の扶養に入っている方

請求者	①（ふりがな）	コオリ　△△	②性別	男・女	③生年月日	昭和○　年　○　月　○　日	※認定・却下年月日	※支給開始年月
	氏名（法人名等）	桑折　△△	④職業	ア．被用者 イ．公務員 ウ．被用者等でない者	⑤配偶者	有・無	年　月　日	年　月　日（　年　月分）
	⑥住所（法人の主たる事務所の所在地）	〒969 -1692 桑折町大字谷地字●番地　電話　012（　3456　）7890			1月1日時点の住所（1～5月分は前年、6～12月分は本年）	（左欄と異なる場合に記入してください） 1月1日時点の住所が⑥と異なる場合記入		
	⑦個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3	⑧請求者の加入している公的年金制度の種別	ア．厚生年金保険　イ．国民年金　ウ．その他（　） ※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に○を記入してください。 （　）私立学校教職員共済 （　）国家公務員共済　（　）地方公務員等共済			⑨所得の状況	令和　年分所得額 （請求者）　円 （配偶者）　円 記入不要
配偶者等	⑩（ふりがな）	こおり　◇◇	⑫生年月日	昭和□　年　□　月　□　日				
	氏名	桑折　◇◇ 電話　012（　3456　）7890	⑬職業	ア．被用者 イ．公務員 （勤務先：　） ウ．被用者等でない者	⑭請求者の控除対象配偶者または同一生計配偶者の場合に○印	控除対象配偶者・同一生計配偶者	⑮個人番号	9 8 7 6 5 4 3 2 1 9 8 7
	⑪住所（⑥と異なる場合）	〒　－ ⑥と異なる場合記入			1月1日時点の住所（1～5月分は前年、6～12月分は本年）	（左欄と異なる場合に記入してください） ⑪と異なる場合記入		

⑯児童の兄姉等（18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）	氏名	続柄	生年月日	監護相当の有無	生計費負担の有無	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	※算定対象の場合に○印
	桑折　◎◎	子	平成☆年☆月☆日	有・無	有・無	同・別		

大学生年代のお子さん
全員について記入

※生計費を負担している
→受給者の収入により子の日常生活の全部または一部を営んでおり、これを欠くと生活水準を維持できない場合

[注意]
⑯「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも「有」の場合は、本請求書と併せて「監護相当・生計費の負担についての確認書」をご提出ください。
（⑯児童の兄姉等と⑰児童の合計人数が3人以上の場合に限る。）

⑰　児　童	氏名	続柄	生年月日	監護の有無	生計関係	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所（別居の場合）	※児童との関係該当する○印				※算定対象の場合に○印
	桑折　□□	子	年　月　日	有・無	同一・維持	同・別			年 指 父				
	桑折　▽▽	子	年　月　日	有・無	同一・維持	同・別			年 指 父 ・同居父				
			年　月　日	有・無	同一・維持	同・別			・未成年 ・父母指 ・同居父				
			年　月　日	有・無	同一・維持	同・別			・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母	（月額30,000円）	（月額15,000円）	（月額10,000円）	円

高校生以下のお子さん
全員について記入

監護の有無：児童を養育してれば「有」
生計関係：請求者自身の子なら「同一」
その他の場合は「維持」

住民票上の住所を記入
別居の場合は「監護・生計同一に関する申立書」の提出が必要

同一生計配偶者：以下のいずれにも該当する方
①前年の12月31日(1月～5月の受付の場合は前々年）において、請求者と生計を一にしている
②配偶者の合計所得金額が48万円以下
③青色申告者の事業専従者として給与の支払を受けていない又は白色申告者の事業専従者ではない
控除対象配偶者：同一生計配偶者のうち請求者の合計所得金額が1,000万円以下の場合の方
両方に該当しない場合は○は不要

⑱支払希望金融機関	名称	預金種別	支店コード	支店名	口座番号	口座名義	※合計月額
	○○　銀行・金庫・信組・農協・漁協	普通・当座	1 2 3	△△支店	1 2 3 4 5 6 7	コオリ　△△ （請求者本人名義の口座に限る）	円
	□公金受取口座を利用する（チェックした場合は口座状況記入不要）						

◎　裏面の注意をよく読んでから記入してください。　※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いてください。